荒川流域一斉水質調査マップ2025

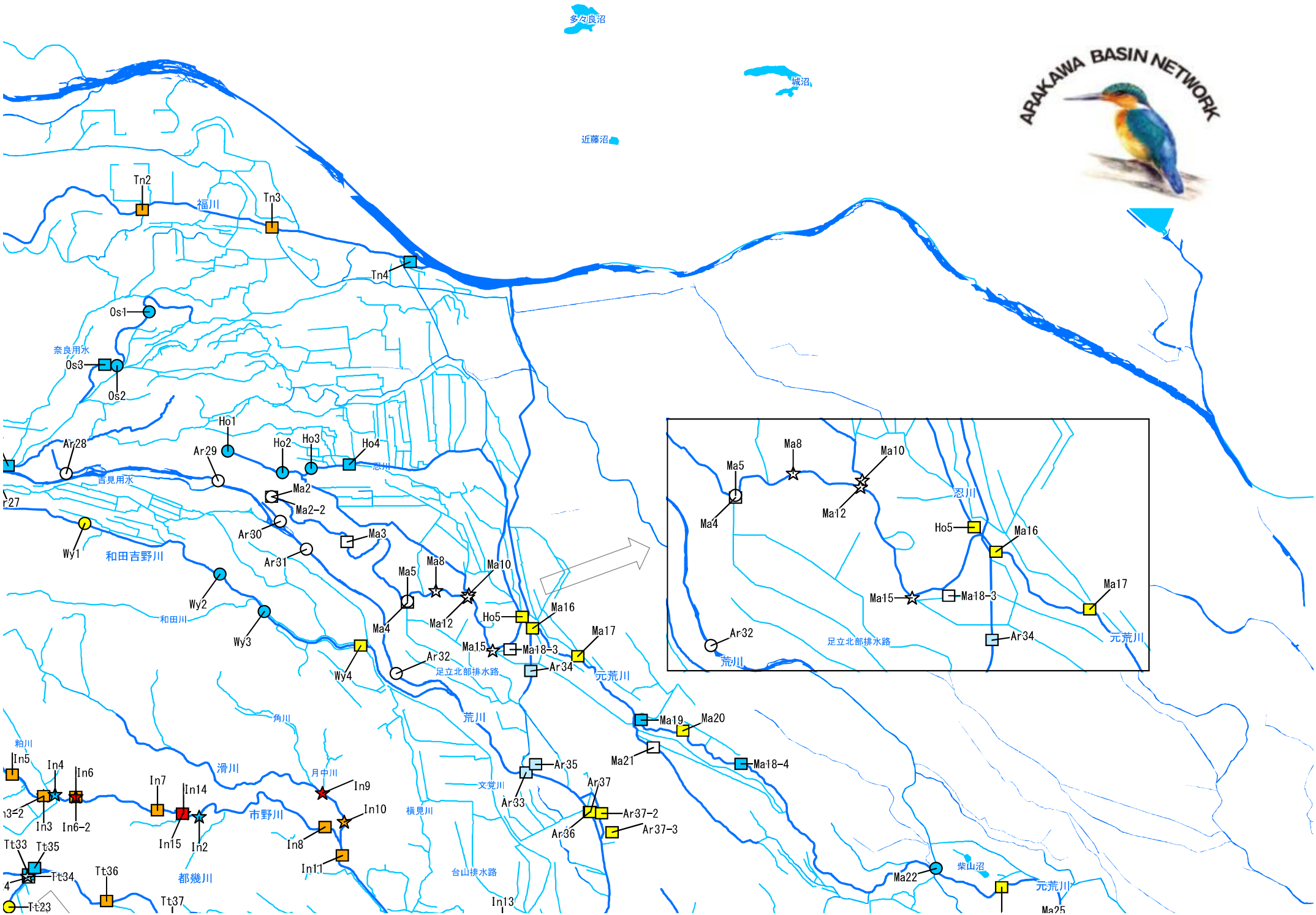
調査日 2025年6月8日（日）

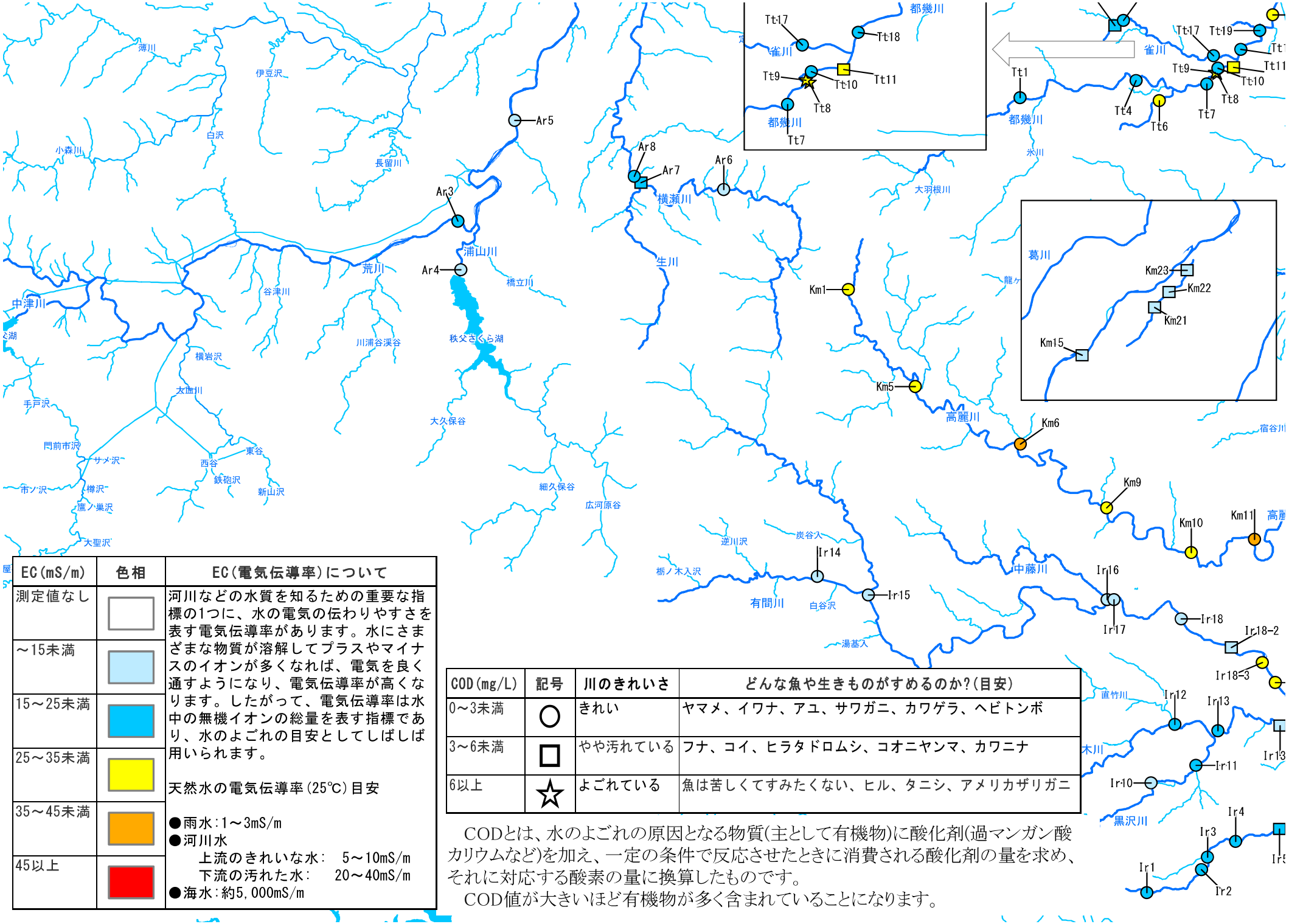
主催　特定非営利活動法人　荒川流域ネットワーク

参加団体　23団体、2大学、2個人

Ar:　荒川本川
Os:　大里用水
Wy: 和田吉野川
Ho:　星川・忍川
Kk:　鴨川・鴻沼川
Ma:　元荒川
Tn:　利根川流域
In:　市野川
Tt:　都幾川・槻川
Km: 高麗川
Oh:　越辺川
Im:　飯盛川
Oy:　大谷川
Ka:　小畔川
Ir:　入間川
Te:　藤右衛門川

市野川水系 in 滑川町の皆さんによる両家橋での採水の様子 (6/1)


ARAKAWA BASIN NETWORK
多々良沼
城沼
近藤沼
福川
Tn2
Tn3
Tn4
Os1
Os2
Os3
奈良用水
吉見用水
Ho1
Ho2
Ho3
Ho4
Ho5
Ar27
Ar28
Ar29
Ar30
Ar31
Ar32
Ar33
Ar34
Ar35
Ar36
Ar37
Ar37-2
Ar37-3
Ma2
Ma2-2
Ma3
Ma4
Ma5
Ma8
Ma10
Ma12
Ma15
Ma16
Ma17
Ma18-3
Ma18-4
Ma19
Ma20
Ma21
Ma22
Ma25
忍川
Wy1
Wy2
Wy3
Wy4
和田吉野川
和田川
足立北部排水路
荒川
元荒川
角川
粕川
In2
In3
In4
In5
In6
In6-2
In7
In8
In9
In10
In11
In13
In14
In15
滑川
月中川
市野川
文覚川
横見川
都幾川
台山排水路
柴山沼
Tt23
Tt33
Tt34
Tt35
Tt36
Tt37

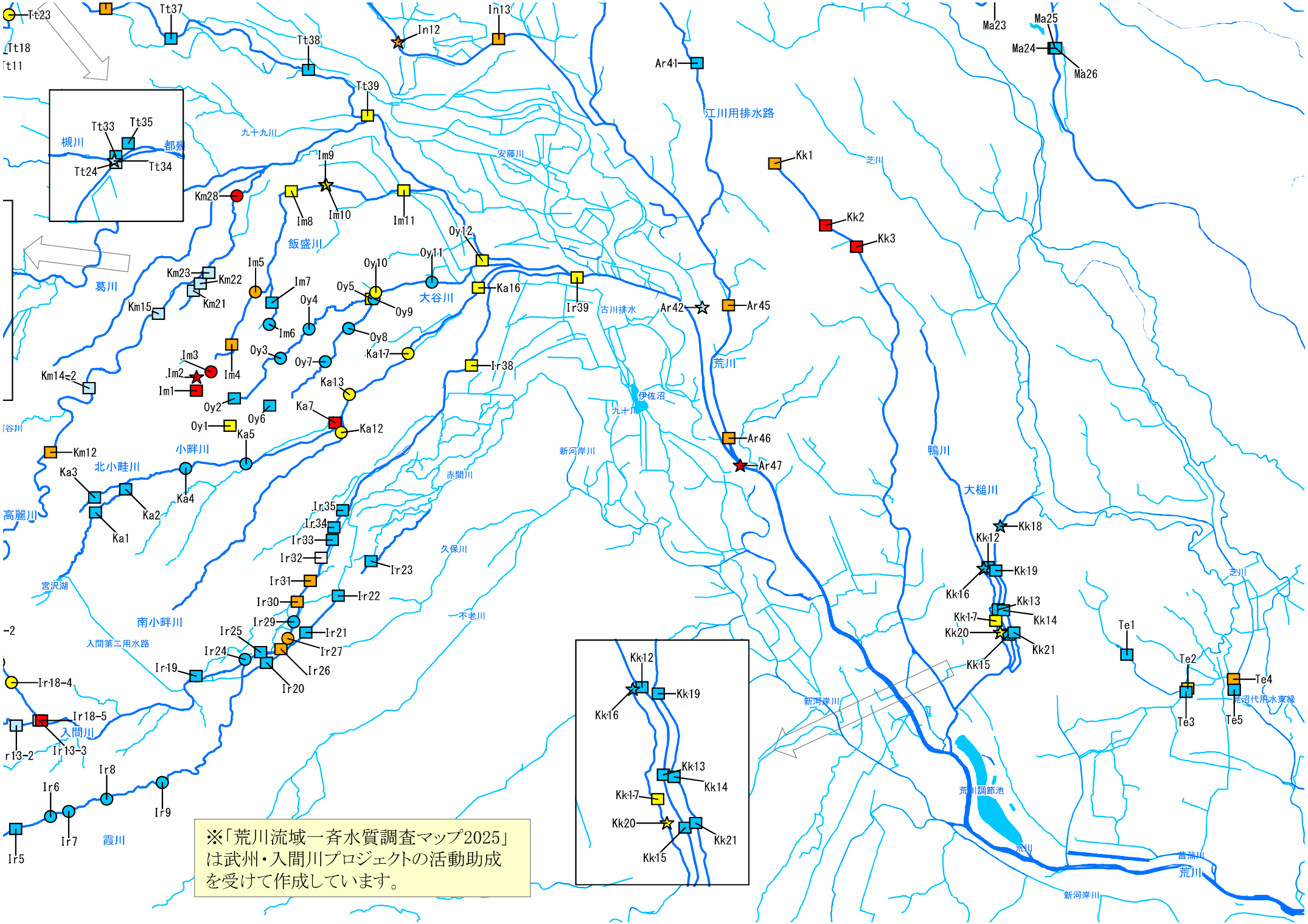


EC(mS/m)	色相	EC(電気伝導率)について
測定値なし		河川などの水質を知るための重要な指標の1つに、水の電気の伝わりやすさを表す電気伝導率があります。水にさまざまな物質が溶解してプラスやマイナスのイオンが多くなれば、電気を良く通すようになり、電気伝導率が高くなります。したがって、電気伝導率は水中の無機イオンの総量を表す指標であり、水のよごれの目安としてしばしば用いられます。 天然水の電気伝導率(25℃)目安 ●雨水:1～3mS/m ●河川水 上流のきれいな水: 5～10mS/m 下流の汚れた水: 20～40mS/m ●海水:約5,000mS/m
～15未満		
15～25未満		
25～35未満		
35～45未満		
45以上		

COD(mg/L)	記号	川のきれいさ	どんな魚や生きものがすめるのか?(目安)
0～3未満	○	きれい	ヤマメ、イワナ、アユ、サワガニ、カワゲラ、ヘビトンボ
3～6未満	□	やや汚れている	フナ、コイ、ヒラタドロムシ、コオニヤンマ、カワニナ
6以上	☆	よごれている	魚は苦しくてすみたくない、ヒル、タニシ、アメリカザリガニ

CODとは、水のよごれの原因となる物質(主として有機物)に酸化剤(過マンガン酸カリウムなど)を加え、一定の条件で反応させたときに消費される酸化剤の量を求め、それに対応する酸素の量に換算したものです。

COD値が大きいほど有機物が多く含まれていることになります。



※「荒川流域一斉水質調査マップ2025」は武州・入間川プロジェクトの活動助成を受けて作成しています。